

JARL 香川クラブ報

No. 361 平成20年10月15日



J A 5 Y D E

クラブミーティングの御案内

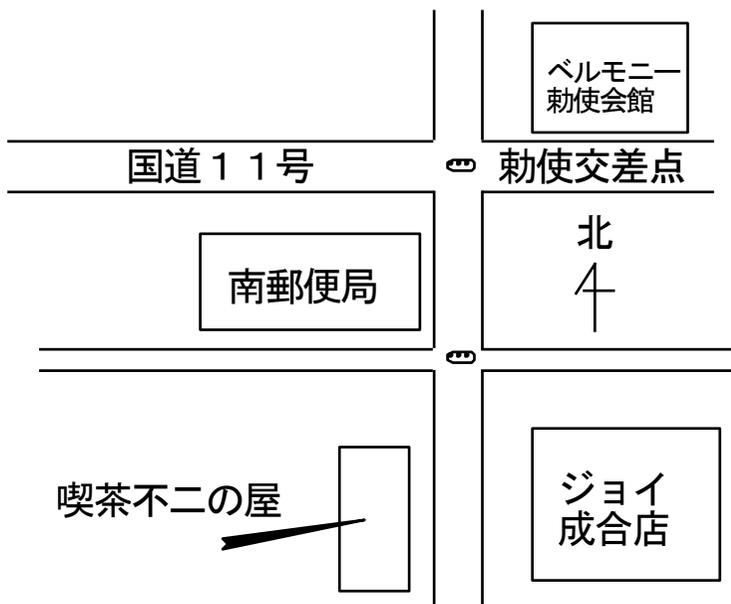
台風15号に水不足解消を期待していましたが、雨も思うように降らず残念でした、でも一方では大きな被害が出ずになによりでした。

寒さ暑さも彼岸までと言いますが流石に朝晩は少し寒く、一寸暖かい物が恋しくなる過ごしやすい季節が来ましたね。

打ち合わせには最適な季節なのでクラブミーティングを下記の通り開催致したく御案内申し上げます、お忙しいとは思いますが多数のご出席お願い申し上げます。

記

- 日時： 11月12日(水) 19:30より
場所： 成合町 喫茶不二の屋
議題： 1. 防災訓練参加依頼。
2. 香川マラソンコンテストについて。
3. 忘年会。
4. その他。



JARL香川クラブ結成 60 周年記念式典のご案内

暑い暑いと言っていた夏も過ぎ去りすっかり秋めいてまいりました。
クラブ員各位には暑さに負けず、FBにご活躍の事と思います。

「JARL香川クラブ結成 60 周年記念局 8 J 5 KA 6 O」も、三木副会長を先頭に順調に運用がおこなわれています。

今年は、史上最悪の水不足も心配されましたが、早明浦ダム発電用水の緊急利用とかで何とか凌ぎきったようですが、冬の少雨期に入りこの状態が続き、来春の菜種梅雨がなければと思うとゾッとします。取り越し苦労でなければ良いのですが。

さて、表記のとおり「JARL香川クラブ結成 60 周年記念式典」を記念局「8 J 5 KA 6 O」の打ち上げも兼ね、下記のとおり計画しましたのでクラブ員各位の参加をお願いいたします。

記

日 時 : 11月1日(土) 18:00から20:00

場 所 : ルポール讃岐 (旧讃岐会館) 高松市中野町 23-23 087-831-3330



<http://www.mapion.co.jp/c/here?S=all&F=mapi4903834081003090604>

会 費 : 男性 5,000 円
女性 4,000 円

申込締切 : 10月25日(土)22:00

申込先 : JH5EZB 三木 ()
JH5PMZ 多田 ()

スポーツの秋、文化活動の秋、いろいろお忙しいこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

平成20年度高松市震災対策総合訓練の参加依頼

最近各地で地震、洪水と被害のニュースが多く災害の少ない香川県も他人事では無く災害の怖さを感じて来ました、各局は如何でしょうか。

台風16号で高松も沢山の被害を出し、私の住んでる香西町もかなり水没しました。私の家は少し高い所にあるので水には安心していましたが、同じ年の次の台風で山の池が切れ鉄砲水にやられ近所一帯水没、香西町の被害は大小別にして平等に来ました。

平成20年度高松市震災対策総合訓練が下記のとおり実施されます、お忙しいとは思いますが当クラブに訓練参加依頼が市より来ています、お手伝いの程宜しくお願い申し上げます。

記

- ・ 訓練実施日：11月24日（月）祭日 午前9時00分～11時30分
- ・ 訓練会場：高松市立牟礼中学校
- ・ 訓練想定：平成20年11月24日（月）午前9時00分、香川県全域に強い地震が発生し、高松市内で震度6弱を記録した。このため、多数の家屋が全壊し、また火災が発生するほか、道路等の破損や交通機関、通信施設、電気等の施設に甚大な被害が生じ、市内沿岸部に津波警報が発令された。
- ・ その他：雨天の場合は中止して予備日を設けません。その状況判断は午前6時に決定します。

<お願い>

- * 参加者は430MHz帯のハンディトランシーバーを持参（無くても可）してください。
 - * 訓練に参加できる方は午前8時45分までに、会場に集合をお願いします。
 - * 駐車場の確保があまりできませんので、乗り合わせるか徒歩、自転車、バイクなどでの参加をお願いします。
- 乗り合わせや駐車場の関係上、参加できる方は事前に連絡をおねがいします。
- * 中止の判断等についての問い合わせはJ H 5 E Z Bまで、雨天の場合は中止。
 - * 会場での誘導など事務連絡は4 3 3. 3 2 MHzとしますので連絡事項があればJ A 5 Y D Eを呼出してください。ただし8時45分後よりお願いします。

携帯電話



クラブ結成 60 周年記念局「**8J5KA60**」

会長 三好伸幸

3月9日、クラブ通常総会の席で「今年はクラブ結成60周年なので、何か行事をしては？」と提案があった。

結成50周年のときに盛大な記念行事をしていたので、「次は75年で良いのでは」と思っていたのだが、皆が特に反対もしないし意見も出ない。

どうせ、記念局を申請しても一クラブの周年行事には免許は下りない事になっていたもので、それでは「許可が下りるのなら記念局を開設して、祝賀会は記念局終了後打ち上げをかねて一杯でもやろう」と言う事になった。

その後、JARL 四国地方本部長の稲毛OMにその旨を伝えると、あっさりと「良いですね、ぜひやってください。今回の理事会でクラブの周年行事にも記念局を下ろす事になりますよ」とのこと。

記念局を開催するとなると、時間とか費用、人など、なかなか大変であることは今までで十分すぎるほど実感しているのだから困った。

5月14日の定例ミーティングの席上では、「コールサインは何が良い、運用目標局数は、常置場所は、記念式典は」などと、どんどん話は進んで行き、三木副会長の発案で「もう一回ミーティングをやろう」と言う事になった。

7月1日にミーティングが開かれ、コールサイン、常置場所、クラブ員以外の運用希望者のための公開運用の日と時間、QSLカードのデザイン、運営組織、記念局の開局式について熱心に議論されれば決定した（クラブ報 360号参照）。

7月26日恒例のフィールドミーティングにおいて、QSLカードのたたき台（JE5PB0作成）が示され、皆ますますその気になってきたようである。

また、天野名誉会長の尽力で高松市と高松市趣味協会の後援も得る事ができ、今更後には引けない。

いろいろ手続き上の紆余曲折があったものの、8月5日記念局開設用の書類等一式をJARLに送付。後は無線局免許状が届くのを待つだけだ。

8月25日待望の免許状が届き、内容を確認。申請どおりに許可されたようだ。9月1日午前0時をもって運用開始しようと思っていたが、よく考えると先のミーティングで開局式は9月7日（日）の10時と決められたのを思い出し、皆で決めたけじめだからそれまでは待つ事にした。「時間はたっぷりある」

開局式の前日、クラブシャックに飾り付けや無線機などセッティングし、準備は万端である。

やると決まった以上、胸が高鳴る。



9月7日早くから各局が集合してくる。予定通り10時から開局式を開催。三木副会長の司会で始まり、私がまずつたないあいさつとお礼を述べ、続いてJARL香川県支部長森国OMの祝辞、JARL四国本部長稲毛OMの祝辞を横田OMが代読、天野名誉会長があいさつを行い一通りの式典を終え、三木副会長の発声で「乾杯」をした。時節柄、お茶での乾杯だが盛り上がりれば何でも良い。

最後に、後援をいただいている高松市趣味協会からのお祝いを、代表して高松市趣味協会名誉会長としての天野OMからクラブを代表して私が受け取らせてもらった。

記念式典も無事終了し、いよいよ運用を開始。

「初運用は会長が」という声に押され、机に向かい7MHzSSBで「CQ CQ こちらは8J5 和 アルファ6 オスカ 8 J 5 KA 6 O J A R L 香川クラブ結成60周年記念局 どうぞ」。

緊張の一瞬、呼ばれなければどうしようといつも思うが、この時もそれが頭をよぎった。個人コールじゃあるまいし、そんなことはいつも杞憂で、一瞬にしてパイルアップになる。そして、この時のパイルアップが何とも言えない心地良さである。1時間の運用でログ3枚(99局)の交信を終え、三木副会長に交代。その後も、ずっと呼ばれ続けた。



最初のミーティングでは1,000局もできれば良いだろうと言われた目標交信局数もミーティングの度に修正されコンディションは良くないが、3,000局位はできるだろうと始まった。

しかし、この原稿を書いている開局1ヶ月後の今は、すでに3,500局を超えている。稲毛OMが、ふと「60周年だから6000局ぐらい交信してよ」と言われた一言が私の脳裏に焼きついて離れない。

クラブ員各局の積極的運用で「もしかしたら有り得ない数字ではないのではないか」と思ったりしだした。

最後にクラブ員各位にお願いします。

HFハイバンドやV/UHFのコンディションが一向に上がってこないのが、難しいかもしれませんが、後り1ヶ月弱がんばって最後まで、そしてできれば一日も欠かす事が無いようこの記念局を全うしたいと思っています。そこで、時間のある方は許可されたバンド・モードの中で、ぜひ積極的に運用のご協力をお願いいたします。

「運用に協力してやろう」と言う方はJH5LYW又はJH5EZBまでお問い合わせ下さい。できる限り、運用日時のご希望に添えるようにいたします。

時節柄、いろいろお忙しいとは思いますがよろしくお願いします。

そして、11月1日に予定されている打ち上げではおおいに盛り上がりましょう。

関西地方ARDF競技大会の奮闘記

DE JG5OBX

9月21日の日曜日に滋賀まで、またまた懲りもせず、ARDFの競技に参加してきました。当日は朝から雨。その前に台風が行き過ぎてたので、もう雨は降らないと思っていたので、これはどうなることやらと思いつつ、出発しました。

途中ものすごい雨、雷も鳴るし大変でした。ARDFの競技は雨ぐらいではよほどの事がない限り中止にはなりません。会場には少し遅れて着きましたが、ここでも大雨。先に着いてる選手の人は準備万端。やる気十分。私ひとり「これはいかん、棄権するわ」とだだをこねてました。「1個だけとって帰ってきたら」その言葉につられ結局参加しました。



スタート位置前で、競技用の地図をもらいます。競技会場は公園です。地図には東西に広い道が1本あり、右下がスタート、750m以上離れてゴール。これは多分FOXは広い道の上下にあるなどと思いつつ。(誰でもそう思う。) いよいよスタートです。

スタートしてから、じょじょに雨が止み始めました。これ以降、雨はまったく気になりませんでした。受信開始地点では何にも聞こえず。以前の私だったらここで慌

てたのですが、とりあえずスタート地点から離れます。この競技はスタートから750m以内にはFOXはないというルールがあります。しばらく行くとゴールが見えます。あっ、ここがゴールか。最後に帰ってくる所です。

2番FOXが聞こえ出しました。方向を決め脇道にはいります。受信機の指す方向は藪の中。別の道を捜します。3.5m帯の電波は反射はないのですが。前か後ろか、どちらへいったらよいか、方向を決めるのが難しく、時には反対ちょうど180度反対方向に走り出します。ゆっくり受信機を回して正面が強いかわが強いかわ決めます。それで、結局藪の中はいりました。もし電波が出てないと誰がはいるか、という所をはいつていきます。途中からこれははずれと気づきましたが、もう後戻りはできません。奥まで入りすぎました。足元は雨のせいで、泥は水をたっぷり含んでいます。すべりながら、とげにひっかかれながらも、ようやくはいりました。出たとたん滑って転倒です。はずかしいので、起き上がるのが早いこと、早いこと。再度、電波を受信して方向を決めます。こっちや。細道を入れていき、審判を見つけました。すぐこの近くにFOXがあるはず。チェックの旗赤/白を発見。見つけました。この瞬間のためにARDFやってるようなもんです。パンチをします。ようやく1匹ゲットです。ここまででスタートしてから1時間弱経ってました。いったん広い道へ出て次の3番FOXを捜しに行きます。これは案外簡単に取れました。審判の人が2~3人FOXの近くをうろろろして、これだとすぐわかります。審判が写真を撮ってくれました。これで2個ゲット。残り時間はあと50分。

次は4番です。広い道にでるまでに、木の階段を降りていきます。すべりました。2回目の

転倒です。ひじを打ちますが受信機は大丈夫。ころんでも受信機はこわしません。

いつのまにか4人のグループができています。電波に導かれるままに、坂道を登ります。この坂がきつかった。はあはあと登りきった道の藪の上から聞こえます。強い。この上にある。確信します。藪を登ります。審判を発見。見渡します。4番 FOX ゲット。

ここで先程より気になることが。私はどこにいるの？ゴールはどっち？地図をみてもさっぱりわかりませーん。とりあえず広い道にでて、それから考えるか。ここまできると欲がでて、さっき強く入ってきた5番 FOX を狙います。近くまで追い詰めて、ここで大失敗。方向を誤り藪の中へと。これはちがう、すぐ引返す。うろろろしてると、向こうから走ってきた選手の人とすれ違い。後ろ姿を見てると。あつというまに5番 FOX をゲット。あれーと思うと捜していたのと、反対方向に見えてるではないか。すれ違った選手に感謝。もし、すれ違わなければ取れなかったかも。

4匹とれば十分です。いつもは3匹までですが、今回は運よく4匹とれました。後は周波数をビーコンに変えひたすらゴールを目指します。

ゴールの後は反省会です。

弁当食べながら、わあわあ言いながら反省をしない、反省してもすぐ忘れる反省会です。次の競技会ではすっかり忘れてます。

ARDF は遊びの中にもその人の性格がでて、運が大きく作用します。最終的には FOX 何個を何時間でとってきたかを競う競技でそれで順位が決まりますが、私自身は後で納得できる競技であれば満足です。

次の全国大会の鹿児島はどんな展開になるのでしょうか？わくわくです。待ってろよ鹿児島。



ARDF 競技大会の報告

9月21日(日)、関西地方本部ARDF競技大会が、滋賀県蒲生郡竜王町にて開催されました。ARDF競技には144MHz帯と3.5MHz帯の競技がありますが、今回は3.5MHz帯部門(A1A)の競技でした。香川クラブより3名が参加をしました。

大会成績表

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数
M21	1位	JF5MED	1:32:27	5個
	3位	JG5OBX	1:35:55	4個
	5位	JH5LYW	1:41:52	3個
M50		JG5WTP	1:25:20	無探

製作技術講習会に参加をして

DE JG5WTP

製作技術講習会に今年も参加をしました。2007年のときよりも人数が少なかったです。今年アンテナインピーダンスメータを製作しました。ビニール袋から取り出して数の確認をしてからいつものハンダをコンセントにさしました。ぼくが製作するのはコネクタタイプ

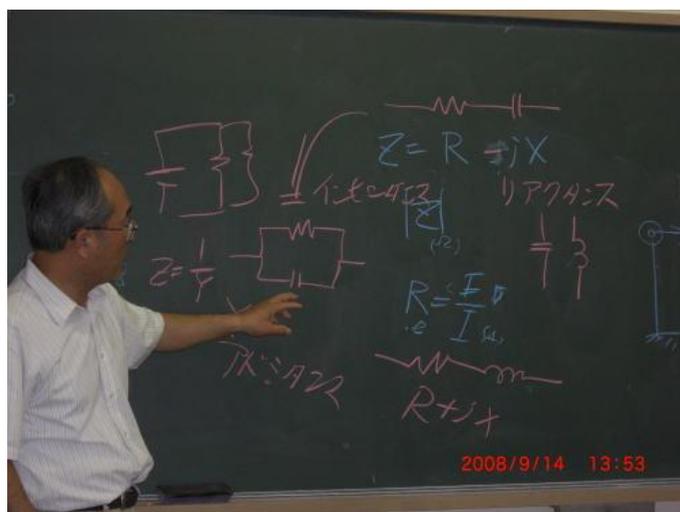


M型 1. 9MHz ~ 14.4MHzまで、10mWの電力でSWRが測定できるものです。図を見てハンダをしていくのですが先生が順番を間違えないように組立なさいといっていました。いつものようにハンダして見本を見て製作しました。14時間くらいにできました。あとはインピーダンスメータを測定してもらおうのですが、うまく出来ているかハラハラドキドキします。1回で測定OKでした。ほっとしました。みんなが製作を終わり、先生がインピーダンスの測定と出し方の説明をしました。僕にはむずかしかったです。また、来年も参

加をしたいと思っています。

毎年同時期に製作技術講習会を開催しており、たくさんのOMさんが参加をしています。製作ジャンルも豊富で自分の製作技術力を高め、無線工学理論を理解するためには格好の製作技術講習会だと思います。

右は講師の大井さん、スミスチャートの権威でアンテナ製作には欠かせない理論を教えています。



(お詫び)

クラブ報 前月号 (N0360) 「防災協定書調印式」の1ページ最終行の文中で下記赤色文章が欠落しておりましたので、前月号クラブ報にご追加をお願いします。「高松市と協定を締結した場合、警察と同じような協定を結ぶと、力が分散して十分な活動が出来なくなると思う」

また、オールJA5コンテストのマルチ数に間違いがありました。右記の赤色にご訂正を下さい。ご指摘下さったクラブ員様、有り難うございました。

最終ページの編集者名JA5TFJ横田OMのコールサインがJH5TFJになっていましたのでご訂正をお願いします。

ご投稿をして戴いたJA5AMH天野OM、編集者のJA5TFJ横田OM、そして読者の皆様に度々の不備をお詫び申し上げます。

	交信局数	マルチ
3.5MHz	73局	29
7MHz	168局	40
14MHz	14局	8
21MHz	32局	17
合計	287局	94

クラブ報の原稿大募集！！

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などジャンルは問いません。
原稿はメール、郵送、引取他、ご一報を頂ければご連絡をいたします。

連絡先：事務局及びE-mail

まで

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成60年目(1948年10月結成)になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新会員の募集
にご協力ください。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせを
していますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都
度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方
は、差し支えなければ連絡下さい。

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成19年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好	伸幸
編集者	JA5TFJ	横田	寿夫
	JH5WMN	山口	博司
	JI5XTP	坂内	信洋